



2021年5月17日

各位

会社名 フィールズ株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 山本 英俊  
 (コード番号:2767 東証第一部)  
 問合せ先 執行役員 グループ経営管理部副部长 畑中 英昭  
 (電話 03-5784-2111(代表))

## 「ウルトラマンが全世界へ！」 円谷プロダクションとNetflixがCGアニメ映画の共同製作を発表

当社連結子会社である株式会社円谷プロダクション(本社：東京都渋谷区、代表取締役会長 兼 CEO：塚越 隆行)は、世界最大級のストリーミングサービスを提供するNetflixと、CGアニメ映画「Ultraman(原題)」の共同製作について合意いたしました。制作は世界的な映像制作会社であるILM(インダストリアル・ライト&マジック)社となります。添付のとおりリリースを発表しましたので、お知らせいたします。

これにより、「ウルトラマン」は、日本国内にとどまらず、世界市場を開拓・拡大する大きなビジネスチャンスとなります。

URL：<https://m-78.jp/news/post-5870>

当社グループの成長ドライバーとしてIPビジネスを担う位置付けの円谷プロダクションは、ファン層に適した実写・アニメ等の映像作品を映画・テレビ・配信等を通じて国内外に提供し『ウルトラマン』ファンを拡大し、映像事業とライセンス事業の双方で収益化する中期事業戦略を2018年より推進しております。

円谷プロダクションの中期事業戦略では、「大型新規IPの開発、およびそのフランチャイズ化」「表現技術とビジネスモデルを含めたデジタル領域へのシフト」「中国・アジア・北米を中心としたグローバル展開」を大きな柱として複数のプロジェクトを各パートナーと進行中ですが、特に、今回のNetflixとの取り組みは、円谷プロダクションにとって創業以来初めての本格的な全世界に向けての展開となり、中期事業戦略における「大型新規IPの開発」「グローバル展開」を実現する画期的な一例となるものです。

当社グループでは、これら世界的にもニーズがあり成長余力の大きな『ウルトラマン』を、新たなビジネスモデルと共に育てることにフォーカスしながら、そこで得られた知見や仕組みを次のステップで拡張・横展開していくことで当社グループをIP企業としてシフトさせていく展望を持っております。

### (参考) 発表済の新規IPプロジェクト(一部)

MARVEL コミックス版ウルトラマン	MARVEL Comics	第2弾が2021年3月に北米で発売	コミックス
シン・ウルトラマン	東宝	公開日程調整中	映画
ULTRAMAN シーズン2	Netflix	制作中(国内制作) ※シーズン1は2019年4月より全世界配信中	アニメ
Ultraman(原題) ※本リリース内容	Netflix	制作中(海外制作)	CGアニメ長編映画

なお、本件による当期(2022年3月期)の連結業績に与える影響は未定です。

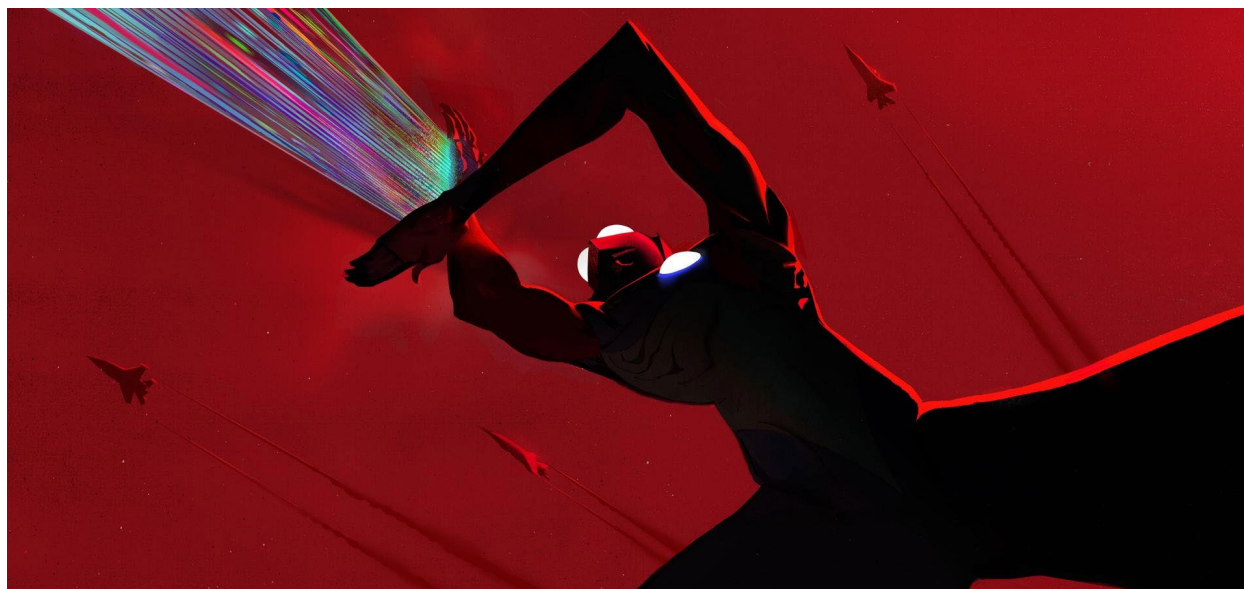
以上

#### ◆本件に関するご連絡先◆

フィールズ株式会社 グループ経営管理部 IR課  
 〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16番17号 渋谷ガーデンタワー  
 電話番号：03-5784-2109 FAX番号：03-5784-2119

# NETFLIX

日本の国民的スーパーヒーローを描く CG アニメ長編映画「Ultraman (原題)」、  
Netflix で製作中



Netflix 提供: [ティーザーアート](#) (ダウンロードしてください)

- Netflix が CG アニメ長編映画「Ultraman (原題)」を円谷プロダクションと共同製作
- 監督: シャノン・ティンドル
- 共同監督: ジョン・アオシマ
- 脚本: シャノン・ティンドル、マーク・ヘイムズ
- プロデューサー: トム・ノット
- 共同プロデューサー: リサ・プール
- 制作会社: 円谷プロダクション、インダストリアル・ライト&マジック (ILM)
- あらすじ: 野球界のスター選手、サトウ・ケンのもう一つの姿、それは地球を守るスーパーヒーロー、ウルトラマン。その役割を担うべく、サトウは日本に帰国するも、戻ってすぐに、「宿敵」の子である赤ちゃん怪獣の養育を任されるという、思いもよらない事態に…。チームの一員として、また新米パパとして奮闘しながら、ケンはある自分の中にあるエゴや疎遠になっている父、過激な怪獣防衛軍の台頭と向き合い、ウルトラマンであることの本当の意味を見出していきます。
- シャノン・ティンドル監督の言葉: 「この映画を作ることは、私の長年の夢でした。円谷英二さんの「ウルトラマン」に対する私の愛から生まれたオリジナルストーリーが、幸運にも映画として実を結ぶことになりました。円谷プロダクションの方々からの素晴らしい信頼と、Netflix アニメーション部門の皆さんのサポートに、心から感謝しています。優れたメンバーがそろった私たちチームの斬新な「Ultraman (原題)」を、世界中の視聴者にお届けできる日を楽しみにしています」
- 円谷プロダクション、塚越隆行代表取締役会長兼 CEO の言葉: 「「ウルトラマン」は 55 年前、当社の創業後間もなく日本で誕生しました。円谷プロダクションにとって今回の Netflix との取り組みは、創業以来初めての本格的な全世界に向けての展開になります。「ウルトラマン」は、これまで多くの人たちを魅了してきました。シャノン・ティンド

ル氏もその一人です。彼は子供のころからウルトラマンに大きな影響を受けて育ち、そしてクリエイターになったとお聞きしています。今度は世界中の子供たちが、Netflixを通じてシャノンのウルトラマンを観て、勇気と希望と思いやりの気持ちを育んでもらえたらうれしいです」

- **Netflix オリジナルアニメーション部門ディレクター、アラム・ヤクービアン**の言葉:  
「親愛なる円谷プロダクションの皆さんと協力し、この人気ヒーローを世界中の Netflix メンバーに楽しんでいただけることを、大変光栄に思います。また、シャノン、ジョン、そして「ウルトラマン」を愛する各国の素晴らしいアーティストたちと手を組めることに胸が躍っています。この日本の国民的ヒーローを愛するファンに、私たちの映画をお届けするのがとても楽しみです。初めて観る若い世代の皆さんにとっても、きっと新しいお気に入りのスーパーヒーローとなるでしょう」
- これまでも Netflix と円谷プロダクションは、アニメシリーズ「ULTRAMAN」（シーズン2を発表済み）を共同制作していました。
- 「Ultraman (原題)」は、Netflix の急拡大するアニメ長編映画のオリジナル作品のラインアップに加わります。これらの作品には、アカデミー賞ノミネートの「クロス」、クリス・パーン監督の「ウィロビー家の子どもたち」、グレン・キーン監督によるアカデミー賞ノミネートの「フェイフェイと月の冒険」などのほか、2021 年秋に配信開始されるコメディでクレア・ナイトとハリー・クリップスが監督を手掛ける「Back to the Outback (原題)」、リチャード・リンクレイター監督の「Apollo 10 ½: A Space Age Adventure (原題)」、クリス・ウィリアムズ監督の「The Sea Beast (原題)」、ヘンリー・セリック監督の「ウェンデルとワイルド」、ノラ・トゥーミー監督の「My Father's Dragon (原題)」、ギレルモ・デル・トロ監督の「Pinocchio (原題)」、ウエンディ・ロジャース監督の「The Magician's Elephant (原題)」、イ・ミンギュ監督の「The Witch Boy (原題)」、ルピタ・ニョンゴ監督の「Sulwe (原題)」、アードマン・アニメーションズの「チキンラン」続編、「Redwall (原題)」シリーズの映画やイベントシリーズなどがあります。
- [ティーザーアート](#) (ダウンロードしてください)

#### Netflix (ネットフリックス) について:

Netflix は、190 カ国以上で 2 億 800 万人の有料メンバーが利用するエンターテインメントに特化した世界最大級の動画配信サービスです。各種受賞作を含む幅広いジャンルのシリーズやドキュメンタリー、長編映画などを多くの言語で配信しています。あらゆるインターネット接続デバイスで、好きな時に、好きな場所から、好きなだけ映画やシリーズを楽しんでいただけます。また、一人ひとりの好みに合わせた作品をおすすめする独自の機能により、観たい作品が簡単に見つかります。広告や契約期間の拘束は一切ありません。

#### 円谷プロダクションとは:

円谷プロダクションは 1963 年に円谷英二氏によって設立された、独立系プロダクションのリーディングカンパニーです。同社は、国内市場および海外市場に向け、様々なコンテンツを製作し続けています。また、同社が生み出し、所有する IP を活用して、ライセンス、マーチャンダイジング、出版、ライブステージショーやイベントなどを行っています。